

## りんご狩り

11月7日(土)、11グループ23人が参加して、扇浦農園でりんご狩りが行われました。

昨年よりも大きく育ったりんごに、子供たちは歓声を上げていました。扇浦さんと秋の恵みに感謝の一日でした。



## 阿尾公民館祭

10月31日(土)・11月1日(日)に公民館祭を開催しました。今年は、新型コロナウイルス感染の懸念からペタンク大会と子ども茶会は中止となりました。その代わりに、市保健課の健康教室が開かれました。

多くの方から出品していただいたお陰で、1日目61名・2日目48名、のべ109名の方々に来館いただきました。

作品の出展や会場設営等に協力して下さった方々、誠にありがとうございました。



## \* 公民館主事の独り言

ある時、権力の絶頂期にあった秀吉が、己の力を見せつけようとして、家康に自分の財宝を披露したことがあった。

財宝を見せつけられた家康は、しきりに感心するばかり。調子に乗った秀吉は、「家康殿は、どのような財宝をお持ちかな？」と水を向けた。すると、家康は物おじすることなく、こう答えた。

「私は貧乏な地方の大名ですから、このような財宝は持っておりませぬ。ですが、私のためなら命を惜しまない旗本が1万騎ほどおります。」

この言葉を聞いた秀吉は、恥じ入ると共に「家康、悔りが難し」の思いを強くしたという。

幕末から明治にかけて活躍した侠客、清水次郎長。ある時、勝海舟がこの大親分にこんな質問をした。

「次郎長さん、おまえさんには、自分のために命を投げ出す子分が何人くらいいるのかね？」

この質問に対する次郎長の答えは意外なものであった。

「そんな度胸のある子分は一人もおりません。」

しかし、次郎長は、続けてこう言った。

「ですがね。あつしは子分のためなら、いつでも命を捨てますよ。」

この言葉を聞いた海舟は、思わずうなり、次郎長の器の大きさに感服したという。次郎長は、「自分のために子分に命を捨てさせるような事はしないが、その逆ならいつでも覚悟はできていると言い切ったのである。

上に立つ者は、どんな時も「自分を支えてくれる人たち」の存在を忘れてはいけない。いや、上に立つ者だけではなく、人は誰でも、誰かに支えられて生きているのである。

## ○12月の講座案内

講座名	曜日	開設日	講師等	時間	部屋
生け花 (池坊)	第1・3水曜日	2日 16日	西山栄津子	10:00～ 14:00	洋室
かな書道	第1・3月曜日	7日 21日	猶明 光華	13:00～	洋室
茶 道	土曜日(原則月2回)	5日 12日 19日 26日	栗山 静子	14:00～	和室
学童茶道& 百人一首	原則毎週木曜日	3日 10日 17日 24日 31日	栗山 静子	15:00～	和室
手 芸	第3火曜日	15日	伏木あい子	13:30～	和室
潮華会(新舞踊)	毎週土曜日	5日 12日 19日 26日	大野 朝子	19:30～	和室
潮月会(新舞踊)	毎週金曜日	4日 11日 18日 25日	大野 朝子	13:00～	和室
囲碁サロン	毎週月・水曜日	2日 7日 9日 14日 16日 21日 23日 28日 30日		13:30～	和室
フラダンス	第1・3火曜日	1日 15日	東軒みさ子	19:00～	和室

※詩吟の講座は、11月10日をもって終了となりました。



## かいほうきっず

10月22日(木)、阿尾公民館で「かいほうきっず」が行われました。幼児と保護者、指導員、計17名が集まり、子育ての悩みや幼児食やおやつについて話合いました。とても有意義な時間になったようです。

## ○歩こう会

11月13日(金)、阿尾社会福祉協議会の主催で「歩こう会」が行われました。行き先は、修復工事が終わった重要文化財の勝興寺です。阿尾・指崎・森寺・北八代を合わせて31名が参加しました。観光ボランティアに勝興寺の七不思議や寺の歴史等について説明してもらいました。

